

霧島山（新燃岳）の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

霧島山（新燃岳）では、本日（27日）15時37分に小規模な噴火が発生しました。
本日（27日）気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県の協力により実施した上空からの観測では、火口西側付近には大きな噴石や降灰は確認できませんでした。
新燃岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

○ 活動概況（図1～4）

本日（27日）15時37分に小規模な噴火が発生しました。その後、噴煙は徐々に少なくなっています。

本日、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が鹿児島県の協力により実施した上空からの観測では、火口西側付近には大きな噴石や降灰は確認できませんでした。また、少量の白色噴煙が上がっているのを確認しました。

※雲により火口内および火口東側からの観測はできませんでした。

15時37分の小規模な噴火に伴って、継続時間約35分の振幅の大きな火山性微動を観測し、火口から南西約3kmにある観測点で2.6Paの弱い空振を観測しました。

鹿児島地方气象台と宮崎地方气象台が実施した聞き取り調査によると、新燃岳周辺の霧島市、えびの市、小林市の一部で降灰が確認されています。火口からの距離は最大で6kmでした。



図1 霧島山（新燃岳） 上空からの観測（火口北側から撮影）

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平20 業使、第385号）。

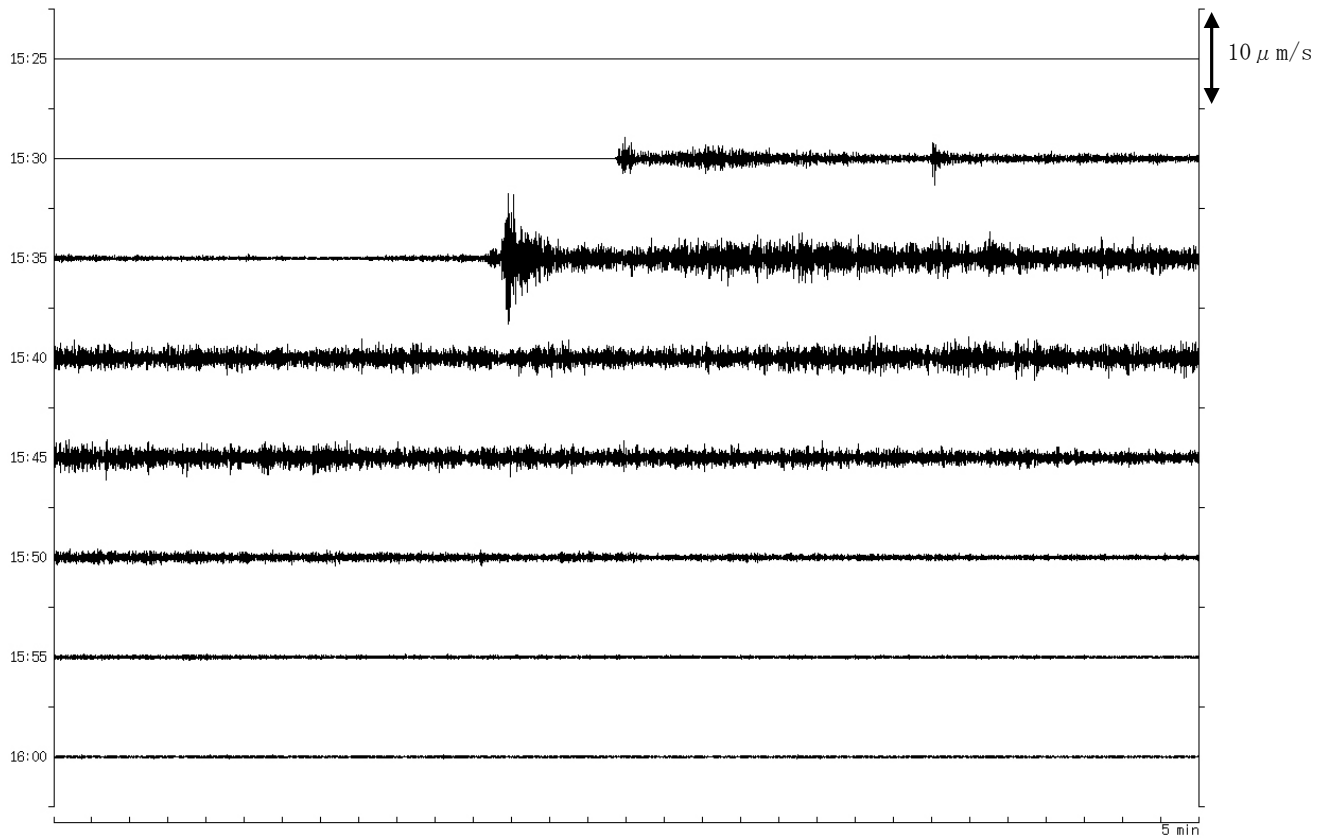


図2 霧島山（新燃岳） 噴火に伴う火山性微動
（霧島山A点東西成分、2010年5月27日15時25分～16時05分）

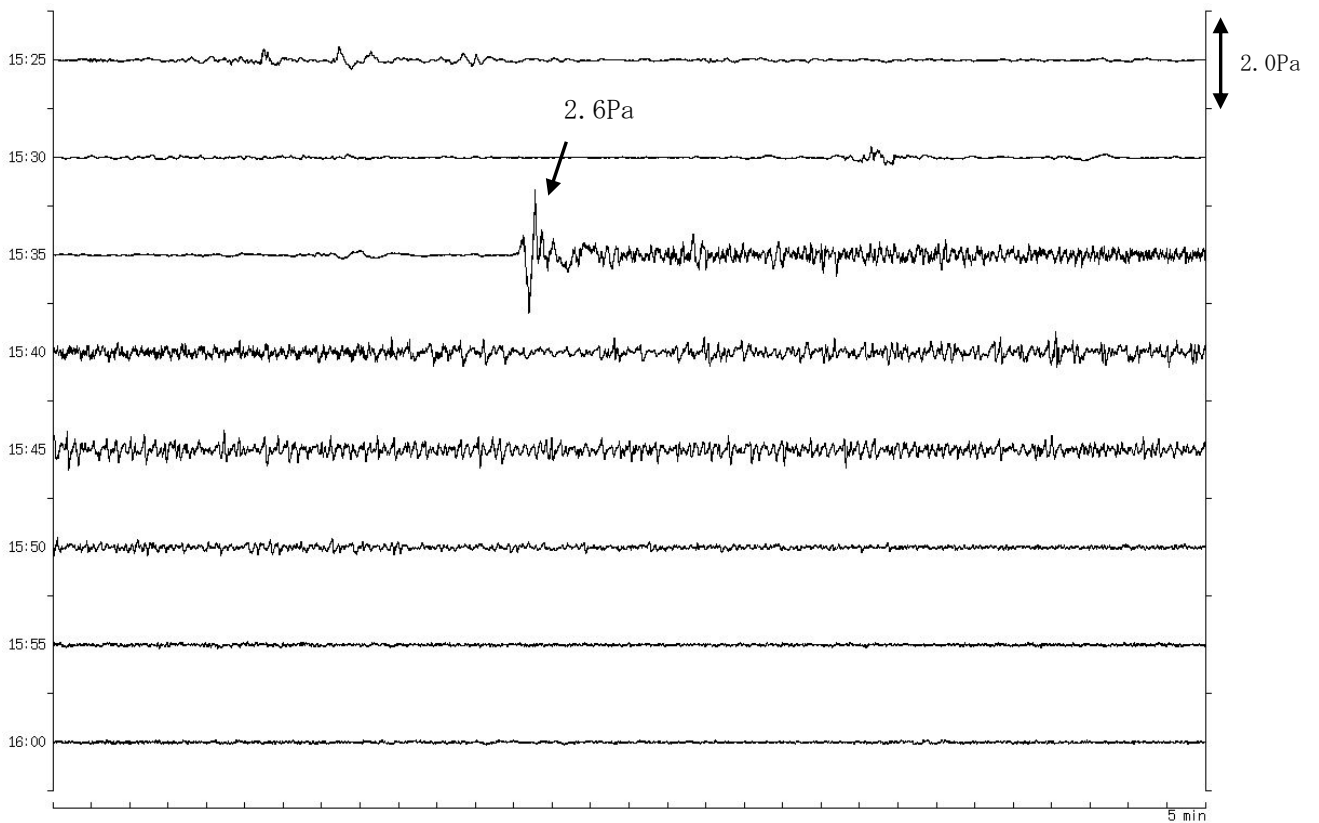


図3 霧島山（新燃岳） 噴火に伴う空振波形
（霧島山A点、2010年5月27日15時25分～16時05分）

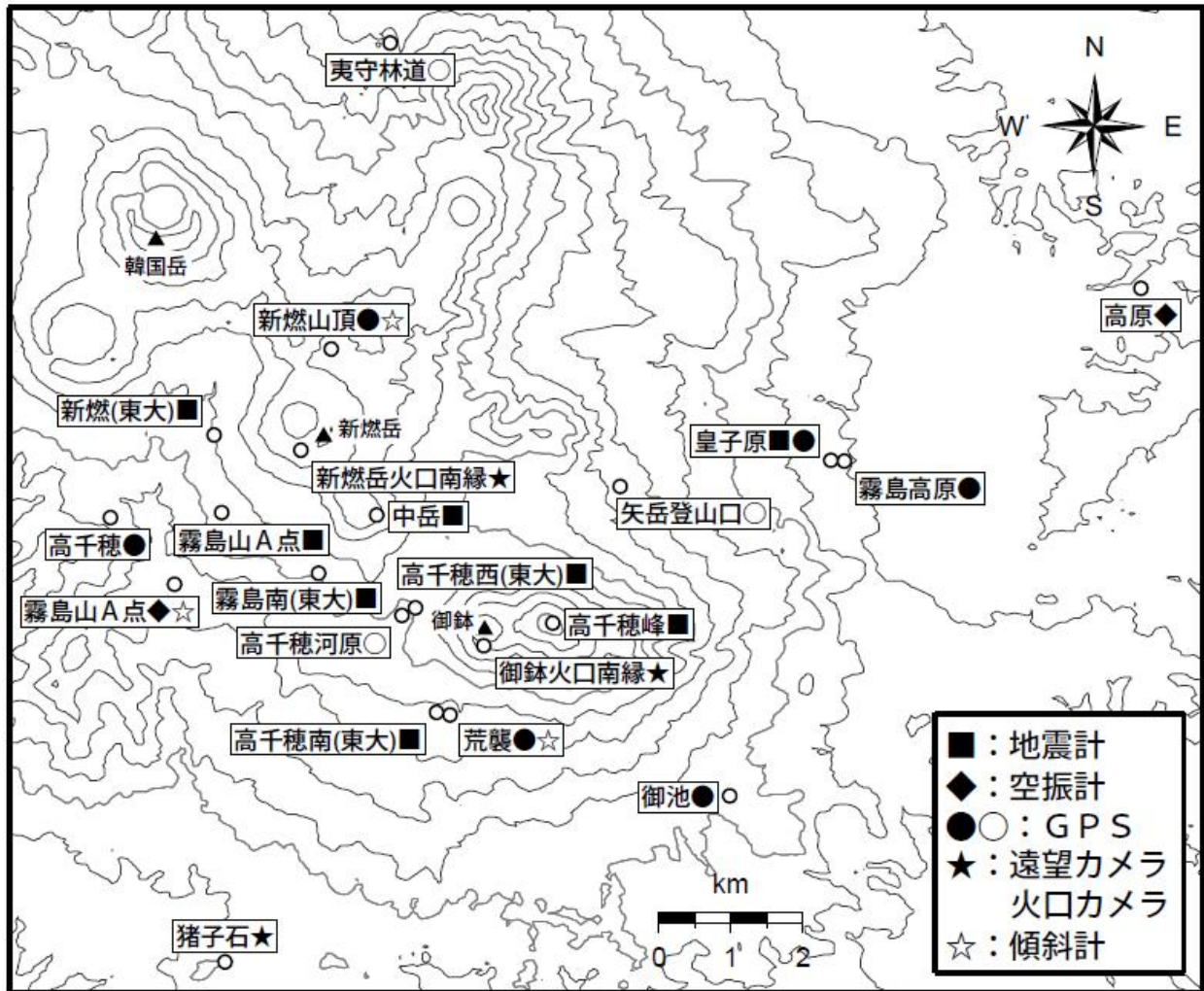


図4 霧島山 観測点配置図